



田尻町議会だより

たじりの風

8531

Vol.111

平成29(2017)年
5月1日発行

■発行／大阪府田尻町議会 ■編集／議会広報委員会 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺375番地1 電話 072-466-5000

ご入学・ご入園 おめでとうございます



中学校



小学校



幼稚園

主な内容

- ★ 一般質問 2 頁
- ★ 委員会報告 6 頁
- ★ この人にインタビュー 8 頁

一般質問

- 大門 久恭 議員 1. 吉見ノ里駅の歩道踏切を大阪側にも設置してはどうか
- 金田 裕治 議員 1. 給食費無料化の進捗について
2. 小学校トイレの改修について
3. 町ホームページの充実について
- 明貝 一平 議員 1. 観光振興の施策はどのように考えるか
2. 防災・減災のために公共施設の設備点検を
- 東 小夜子 議員 1. 施政方針よりりんくうポート北広場の整備とは
2. 高齢者の運転免許証自主返納を推進するべきでは
3. 私立中学・高校に通う子育て所帯に経済的支援を
- 坂口 実 議員 1. 地区会・自主防災組織について
- 吉開 育子 議員 1. 栗山町長の公約実現を
2. 敬老年金の復活を求める
3. 水道料金・下水道使用料の福祉減免制度の実施を求める
- 中川 達夫 議員 1. 平成29年度町長の施政方針を問う

※この一般質問の内容は、各議員の責任のもと記載しております。



大門 久恭 議員

問 吉見ノ里駅の歩道踏切を大阪側にも設置しては

答 鉄道事業者と協議していく

問 平成28年2月に和歌山側踏切歩道が開通し1年がたつ。その後、踏切より山側に横断歩道が設置され、学校でも登下校の指導がされているはずなのに、いまだ大阪側の踏切を渡って通学している多くの生徒たちを見かける。一般の人たちも和歌山側踏切歩道を活用しているとは言いがたく、駅を利用する人たちの多くは車両の通る大阪側を渡っている。通勤通学の時間帯は車両も多く、事故があつてからでは遅い。大阪側にも踏切歩道を設置するなど、町として何らかの対策を検討してはどうか。

答 **都市政策課長** 鉄道事業者と、両側歩道の設置をはじめ一体的な道路整備を行うことで協議をしてきたが、拡幅における駅舎への影響や駅海側の交差点の調整が難航したため、早期での踏切の安全性向上を第一と考え、和歌山側の歩道整備を行った。しかし、駅舎が大阪側にあるため、利用者の一部が歩道のない大阪側を通行していることも事実であり、今後粘り強く協議検討を進めていく。





金田 裕治 議員

問 給食費の完全無償化は行わないのか

答 検討事項として考えている

問 昨年3月議会で町長は、給食費の内容や助成額について前向きに検討していくと答弁している。府内で導入している団体がない今こそ先陣を切って完全無償化を実施して、子育てに優しいまちをアピールすべきでは。

答 学事課長 平成28年度から一部補助をしている。今後は、作り手の問題、設備の問題等を含めて内容のさらなる充実に向けて検討していく。

問 今後、完全無償化を全く行う気はないのか。

答 学事課長 検討事項ということで、全くこの先考えていないということではない。



明貝 一平 議員

問 観光振興の施策はどのように考えるか

答 田尻漁港を中心に展開していく

問 私がかねてから田尻町の観光振興は田尻漁港を起爆剤にするのが最良だと申し上げてきた。シティプロモーションを進めるにあたり、同時進行で観光振興のための基盤整備も必要と考えるがその施策はどのようなものか。

答 産業振興課長 まずはガイドマップの作成や漁港内のトイレ改修をしていく。また、国の交付金獲得も積極的に進めていく計画である。

問 トイレ改修でもデザイナーズトイレ等を考え、集客力のあるトイレにする発想を持つことや、漁港内に誰でも使えるインターネット環境を設置する考えは無

問 読み手を意識した町のHPに改善を

答 今後研究していきたい

問 町のホームページは、動画もなく、町長の部屋の「ご挨拶」も就任以来更新されていない。単にイベント情報を載せるだけでなく、もっと読み手を意識した内容にしてはどうか。

答 企画人権課長 町のホームページでは公共施設や行政サービスについて、広報誌に掲載し切れない詳細な情報を掲載している。今後は不足している情報や古くなった情報の更新など、より読み手の方々に親しまれる記事の掲載も含めホームページの改善に努める。

問 他市町村では公共施設の利用空き情報の確認や予約までをインターネット上でできるが、田尻町では行わないのか。

答 企画人権課長 近隣の状況等を踏まえて研究していきたい。

いのか。

答 産業振興課長 様々な提案を頂いたので、出来ることから進めていきたい。

問 防災・減災のために公共施設の設備点検を

答 設備の更新時には順次変更する

問 ライフラインの1つである「ガス」に注目し、避難所となる公共施設の給湯器やコンロの入れ替え、都市ガスとプロパンガスの併用も考えた改修をするべきではないか。

答 危機管理課長 現在は都市ガスの供給管を更新する際には地震に強い供給管に入れ替えている。また、プロパンガスが地震の場合に有効だとも承知している。今後は器具の更新時に併用を視野に入れて計画していく。



東 小夜子 議員

問 高齢者の運転免許証
自主返納の推進は

答 関係機関と連携して検討を進める

問 高齢者ドライバーの自動車事故が相次ぐ中、大阪府の65才以上の運転免許証の自主返納率は、2年連続で全国1位を記録したが、府内の市町村において差がある。子どもや親族に、運転の負担をかけまいと自主返納を避ける人もいる。田尻町でも、自主返納した人に代行交通手段や、タクシー券の支給や買い物代行に補助をする等の特典を考えるべきでは。

答 **都市政策課長** 非常に参考になる意見だと思うが、検討に至っていない。課題検討として、関係機関と連携して検討を進める。

問 私立中学・高校に通う
子育て世帯に支援は

答 現状においてはかなり厳しい

問 私立中学や高校に通う子育て世帯に、大阪府にない制度を。本町独自で公私立間格差を是正するべきでは。

答 **副町長** 経済状況にかかわらず教育の機会を保障するのは重要だ。大阪府の制度も今後どうなるのかわからない。他府県に就学される方への助成については、府議会に要望している。低所得世帯においても、どういう事情が存在するのかわからない中で、府の制度も不安定であり、町単独でするのはかなり厳しいと考える。



坂口 実 議員

問 地区会、自主防災組織に助成を

答 提案は予算化できない

問 地区会役員の方々の労苦は計り知れないものがある。地区会役員報酬の支給を提案する。

答 **企画人権課長** 役員報酬支給の考えはない。

問 田尻町地域防災計画にある自主防災組織の結成状況の報告を求める。

答 **危機管理課長** 自主防災組織は3地区3組織、役員は吉見9名嘉祥寺18名りんくう9名、会員世帯数は、吉見1,032世帯、嘉祥寺893世帯、りんくう328世帯。

問 地区会、自主防災組織が地域コミュニティの活性化促進を図るため、約2,000万の枠取り予算を提案する。これにより全ての世代がワクワクする事業の展開も可能となるのではないかと。財政運営の観点から見解を求める。

答 **総務課長** 予算の意義とはかけ離れ、住民目線からしても望ましくない。

問 地域自治区制度が北海道むかわ町他17自治体123自治区にある。その中で愛知県豊田市の地域自治条例があり、このパンフレットの中にわくわく事業500万、地域予算提案事業2,000万の枠取り予算が現状ある。(愛知県豊田市HPより) 本町は財政上問題ないか。

答 **総務課長** 当初のように枠取り予算というもので、そのような政治的色合いの強いものは予算の意義上難しい。



吉開 育子 議員

問 町長の公約「学校給食費の無償化」の実現を

答 補助額を前向きに検討し保護者負担軽減を考える

問 栗山町長は公約に「学校給食費の無償化」を掲げたが、今年度は給食費の一部負担を実施した。学校給食費の無償化を実施している市町村が、新聞「赤旗」の調査では全国で62の自治体に広がっている。公約通り給食費の無償化を進めることを期待している。

答 **町長** 給食の内容の改善を行う中で経費が膨らむ。町の負担を見ながら保護者負担をできるだけ軽減していきたいと考えており、助成額について前向きに検討していく。

問 水道・下水道料金の福祉減免の実施を

答 町独自ですることは考えていない

問 「泉佐野市のように水道料金の減免をしてほしい」というご要望が共産党の町民アンケートに寄せられた。泉佐野市では福祉増進のために、65歳以上の世帯・障がい者世帯・ひとり親世帯に対し、また泉南市では65歳以上の非課税世帯・ひとり親世帯に対し、水道・下水道の基本料金とメーター使用料を減免している。田尻町としても福祉増進のために福祉減免制度の実施を求める。

答 **町長** 水道・下水道料金については、府内でも比較的安い価格で提供しており町民のみなさん全体に平等なのが大前提。福祉サービスは福祉課からいろんな助成が出ている。水道企業団の統合について検討を進めている途中であり、町独自でそういうことをすることは今は考えていない。



中川 達夫 議員

問 平成29年度町長の施政方針を問う

答 町民懇談会を予定している

問 田尻町道新家田尻線に街路樹を植樹するとあるが近隣住民の理解を得るため説明会の有無を問う。

答 **都市政策課長** 緑あふれる豊かな地域づくりの一環として植樹する。秋から冬にかけて工事実施予定で適正な維持管理に努める。

企画人事課長 町民懇談会は4月下旬を予定している。

問 自主防災組織づくりの進捗状況と防災リーダーの役割を問う。

答 **危機管理課長** 平成28年においては、地区会の役員から防災意識の高い方が先頭になって研修会、講習会に参加している。防災リーダーとしての消防団が指導的活動の訓練指導を行ない、防災意識を持っているので指導的立場をとってもらう。

問 歴史館について改修に多額の費用を投じているが、改修後の使用目的を住民に説明する必要があるのでは。

答 **社会教育課長** 今回改修ではなく耐震診断であり、その結果実施設計により今後判断するが、その上での利活用を提案し、町民懇談会を予定している。



委員会報告

総務建設常任委員会

委員長 大門 久 恭

審査結果、並びに経過報告 (3月9日開催)

◎田尻町個人情報保護条例一部改正の件
(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

問 総務省から個人住民税にかかる納税通知書への個人番号記載の通達がなされたと思うが、個人情報保護の観点から問題があると言われている。町としてどのように考えているのか。

答 本町においても議論はしている。各自治体の取り扱いは様々であるが、法令及びその施行通達に基づき、適正な対応をしていく考えである。

なお、郵送方法については書留郵便での対応を考えている。

◎職員の勤務時間に関する条例等一部改正の件
(条例等の一部改正) 【全会一致で可決】

問 介護時間を取得するためには、ゆとりのある人員配置が求められると思うがどのように考えているのか。

答 職員数に限りがあるが、課員の業務等を把握している課長が、本制度による特別休暇が取得できる職場となるよう配慮すべきと考えている。

◎田尻町手数料条例一部改正の件
(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

問 本町における開発件数は。

答 平成28年度においては、旧府営住宅跡地開発及び調整区域内の個人住宅の2件があった。

◎田尻町の都市行政に関する事務を泉佐野市に委託することを廃止することに関する協議の件
(廃止に関する協議) 【全会一致で可決】

問 廃止の申し出は泉佐野市からあったのか。

答 当初3市3町で協議を行ってきたが、泉佐野市、熊取町においては個々の事情により抜け、今回の構成団体となった。

◎泉南市、阪南市、田尻町及び岬町における広域まちづくり課の共同設置に関する協議の件
(共同設置に関する協議) 【全会一致で可決】

問 共同設置後の町負担金はどうなるのか。

答 平成29年10月から共同設置されるが、平成28年度負担金が460万円。平成29年度が440万円。平成30年度が160万円と確実に減少していく。

問 平成29年10月から泉南市に町職員を派遣させるのか。

答 設立時においては、大阪府と泉南市の職員で組織されるので、町からの派遣はない。

◎田尻町の屋外広告物の許可事務等及び措置命令等に関する事務を泉南市に委託することに関する協議の件
(委託に関する協議) 【全会一致で可決】

問 年間5件から10件の件数と本会議で説明されたが、町直営で出来ないのか。

答 現状泉佐野市に委託しており、それ以前は大阪府の事務であった。事務の内容が詳細であり、非常に高い専

門性が必要なことから今回泉南市に委託することとした。

◎平成28年度田尻町一般会計補正予算(第4号)の件
(10億7,041万円の増額) 【全会一致で可決】

問 財政調整基金積立金11億9,000万円の要因は。

答 法人税及び町たばこ税の増が要因である。

◎平成28年度田尻町下水道事業特別会計補正予算(第2号)の件
(2,348万2千円の減額) 【全会一致で可決】

・主に決算見込額の確定による補正予算である。

◎平成28年度田尻町水道事業会計補正予算(第2号)の件
(2,791万4千円の減額) 【全会一致で可決】

問 平成27年度と比べ、平成28年度の給水量の推移は。

答 過去においては、旧府営住宅跡地の大規模開発や警察学校の移転が要因で大きく変化したが、平成27年度、28年度とも約99万トンで、横ばい状態である。

文教厚生常任委員会

委員長 明 貝 一 平

審査結果、並びに経過報告 (3月10日開催)

◎田尻町指定地域密着型サービス事業者の指定に関する基準並びに事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例制定の件
(条例の制定) 【全会一致で可決】

問 3市3町で構成する広域福祉課で実施した場合どのようなメリットがあるのか。

答 本事務を実施するためには、専門的な知識やスキルが必要であり、広域福祉課であれば、そういう人員配置や体制を組むことが可能となる。

◎田尻町税条例等一部改正の件
(条例等の一部改正) 【全会一致で可決】

問 本条例改正により税負担に影響がでるのか。

答 本条例改正は、消費税率の10%への改正が延期されたことに伴うものであり、影響はない。

◎田尻町子ども医療費の助成に関する条例一部改正の件
(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

問 制度間に差異が生じていた理由は。

答 子ども医療費助成制度を含む全ての福祉医療費助成制度の実施主体は市町村であるが、大阪府から補助金が交付されることから、府と町の共同実施事業であると考えられ、大阪府の制度に準じて実施していたためである。

◎田尻町ひとり親家庭の医療費の支給に関する条例一部改正の件
(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

・児童福祉法の改正に伴い、規定整備を行うものである。

◎田尻町国民健康保険条例一部改正の件
(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

問 賦課限度額を国基準まで引き上げているが、該当する世帯数は。

答 限度を超える世帯数は、基礎賦課分で15世帯から14世帯に、後期高齢者支援金分で20世帯から12世帯となる。

問 法定軽減の改正により、どれくらい対象世帯が増えるのか。

答 今年度の基礎賦課分で見ると5割軽減は178世帯から182世帯に、2割軽減は150世帯から151世帯になる見

込みである。

◎田尻町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例全部改正の件

(条例の全部改正) 【全会一致で可決】

問 本条例においては、利用者の規模の人数を定めていないが、必要ないのか。

答 事業所の規模については、労働省令に定められており、必要ない。

◎田尻町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例全部改正の件(条例の全部改正) 【全会一致で可決】

・平成29年4月から広域福祉課にて事務を担当することに伴い条例の形を合わせるため改正を行うものである。

◎平成28年度田尻町一般会計補正予算(第4号)の件

(10億7,041万円の増額) 【全会一致で可決】

問 法人税が5億円補正計上されているが、その内容について。

答 関空関連企業複数社の業績が好調であった為である。

◎平成28年度田尻町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)の件

(78万2千円の減額) 【全会一致で可決】

問 特定健診の受診率は。

答 平成27年度実績で33.1%。平成28年度については2月末時点で27.9%となっている。

予算特別委員会

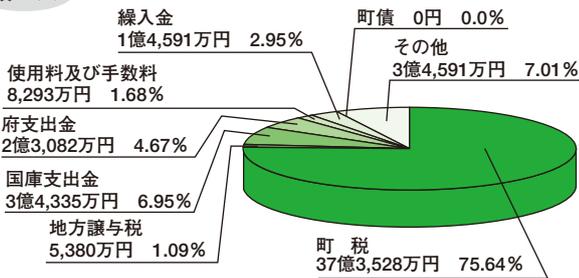
委員長 仁部 順行

審査結果、並びに経過報告 (3月13・15日開催)

◎平成29年度田尻町一般会計予算の件

・49億3,800万円 【全会一致で可決】

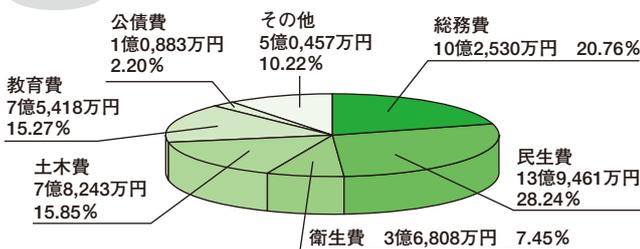
歳入



問 関空関連と思われる税金はどれほどか。

答 関空関連の税金については、合計で29億9,000万円となっており、全体の約80%である。

歳出



総務費

問 防犯灯のLED化の工事は、今回の予算で何個つけて、町内のLED化はどれくらい進んだのか。

答 防犯灯のLED化は、29年度で約60灯ほどして、全てLED化になる予定である。

民生費

問 徘徊高齢者等GPS導入補助金について利用者は幾ら必要で、どのくらい助成するのか。

答 初期費用であるGPSの1万7,000円を全額助成して、毎月1,000円弱の維持管理費についてはご家族の方で負担していただく。

衛生費

問 新生児のB型肝炎の現在の接種状況は。

答 B型肝炎の予防接種は、昨年10月に定期接種化され、2カ月から1歳未満の乳児に対して3回するもので、平成28年の4月生まれ以降の乳児が対象となっている。現時点での本町における接種状況としては、35名うち34名の接種が確認できている。また、確認できていない1名についてもこれから接種予定である。

農林水産業費

問 青年就農給付金が出ているが、どんな事業をするのか。

答 青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るために、45歳未満、農地で機械を所有、または借りている方を対象に、5年間分支給するものである。

土木費

問 健康遊具等整備工事の内容は。

答 交流広場及び潮風グラウンド横に健康遊具約6基程度を整備すると、休憩施設の整備も考えている。ほかに案内看板や健康遊具の説明看板も同時に設置して、そこに行けば説明書を見ながら健康体操していただける施設にしたいと考えている。また、この工事については、10月予定の健康のイベントがあり、それまでに整備してそのイベントの中でお披露目をしていきたいと考えている。

消防費

問 本町にある事業所の人が消防団へ入っていただくことはできないか。

答 平成25年4月から泉州南広域消防本部350名体制で広域消防、消火防災の強化を図っており、行政としても消火防災力の向上も図りつつ、消防協力事業所という制度もあるので事業所とそういう話も進めていきたいと考えている。

教育費

問 新規事業のトップアスリートによる夢先生事業とはどのようなものか。

答 日本サッカー協会が全国各地の学校にトップアスリートを派遣して、学校で行われる夢の教室というものである。内容については、小学校の5年生をまず対象に午前中に日本サッカー協会が主催するJリーグ現役選手や日本代表選手などに来ていただいて、夢の教室を実施し、午後からは小学校4年から6年生及び保護者地域の方を対象にした講演会を実施する。次年度以降は、財政方とも協議して続けていけるようにしていきたい。

賛成討論

町長公約のインフルエンザ予防接種の無料化等実現されていないものがある一方、(仮称)りんくうポート北公園用地やJA跡地の購入による今後の事業展開を示し、ふれ愛センターの土日開館を打ち出すなど町

長の行政手腕を評価している。

今後においても、住民の声に耳を傾け、よりきめ細かな福祉、教育、暮らし応援の施策の実施を要望する。

◎平成29年度田尻町国民健康保険特別会計（事業勘定）予算の件

・9億8,859万4千円 【全会一致で可決】

問 被保険者数の減少の要因は。

答 被保険者数の減少の主な理由は、後期高齢者医療制度への移行と、社会保険への加入が主な要因となっている。

◎平成29年度田尻町後期高齢者医療特別会計予算の件
・1億749万2千円 【賛成7、反対2で可決】

問 政府は来年度初めて軽減措置の廃止を打ち出したが、本町では該当する方は何人いるのか。

答 所得割の5割軽減の方が現在335名いる。

反対討論 75歳以上が支払う後期高齢者保険の保険料について、国は軽減している特例を来年度から一部廃止する方針を固めた。今回の制度変更は、後期高齢者医療費制度が発足して以来最も大きなものであり、高齢者の保険料を引き上げようとするこの政策は間違っている。国は本制度への国費投入を維持、拡充するなど高齢者が安心して医療にかかれるようにすべきであり、本予算案には反対である。

◎平成29年度田尻町介護保険特別会計予算の件
・7億335万2千円 【全会一致で可決】

問 居場所づくり事業委託料の内容は。

答 りんくうの集会所、吉見の集会所、嘉祥寺の方はお寺をお借りして、簡単な体操もできる、お年寄りが集う場所、それをつくってそこに運動指導士や、看護師などを派遣して、社会福祉協議会へそれらを委託して、今までの人生大漁（体良）講座にかわって地域の方々の介護予防をよりしやすい形で展開していくものである。

◎平成29年度田尻町下水道事業特別会計予算の件
・8億1,581万1千円 【全会一致で可決】

問 ポンプ場の長寿命化計画はどういうものか。

答 中央ポンプ場は平成6年に供用を開始しており約20年経過しているため老朽化している。約2年前から長寿命化の計画を立て、去年は電気設備の長寿命化対策工事をやっている。今回予算計上しているのは電気設備と機械、ポンプの方の工事である。

◎平成29年度田尻町水道事業会計予算の件
・3億873万3千円 【全会一致で可決】

問 災害時、バイパスがあり水がもらえるようにはなっていると聞いたが、本町としてそれが最大で唯一の方法というところ、それ一つなのか。その後はどうなるのか。

答 泉南市と泉佐野市に2カ所緊急連絡用としてのバイパス管を現在設備をさせていただいている。それと、上下水道課独自の備蓄物資も備えており、例えばペットボトルであれば1,390本を常備している。その他給水袋125袋、給水バッグ1,700袋、ポリタンク等も常備している。また他市とも協定をまき、お互い相互連携をとるようにしている。

審議結果

意見が分かれた議案名	審議結果	仁部 順行	明貝 一平	吉開 育子	小川 雄司	東 小夜子	中川 達夫	大門 久恭	小林 健治	金田 裕治	坂口 実
平成29年度田尻町後期高齢者医療特別会計予算の件	原案可決	○	○	×	議	○	○	○	○	○	○

○…賛成 ×…反対 議…議長のため賛否なし

この人にインタビュー

社会福祉法人 田尻町社会福祉協議会
常務理事 榎葉 智晴さん (62)



Q 前職は？

A 泉大津市副市長でしたが、市長交代があり今年の1月に退任しました。それまで43年間の行政経験歴になります。

Q 趣味は？

A 魚釣りが好きです。70cmの鯛を釣りあげたのは嬉しかった。あとはウォーキングですかね。泉佐野市に住んでいるので、マーブルビーチや田尻漁港周辺もよく訪れます。

Q 田尻町の印象は？

A 先日ですが、吉見集会所に向かう途中で迷子になり、婦人会の会員だという住民さんが集会所まで連れて行ってくれました。すごくあたたかい町だなあと感じました。

Q 今後の意気込みを教えてください。

A 着任間もないので大層なことは言えませんが、公務員経験を活かした事務処理の適正化や役場とのパイプ役を務めたいと思います。また、高齢者と子どもを繋ぐ仕掛けを考えていきたいと思っています。

編集後記

さわやかな季節となりましたが、皆様方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

また、平素より町議会に対し暖かいご支援をいただき、本当にありがとうございます。

本号をもちまして私たちは広報委員の任期を終えます。任期中においては、議会だよりをより多くの方々に読んでいただけたよう、改善に努めてまいりました。今後とも議員一丸

となつて取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



議会だより広報 委員長 明貝 一平
副委員長 金田 裕治
委員 吉開 育子
委員 東 小夜子
委員 小林 健治